



ヨトウムシ等の幼虫(蛾)の見分け方

気温が上がってくると、作物を食害する蛾類の活動が盛んになってきます。特に、ヨトウムシ類は雑食性のため、野菜や花、果樹など広範囲の作物に多くの被害を与えます。

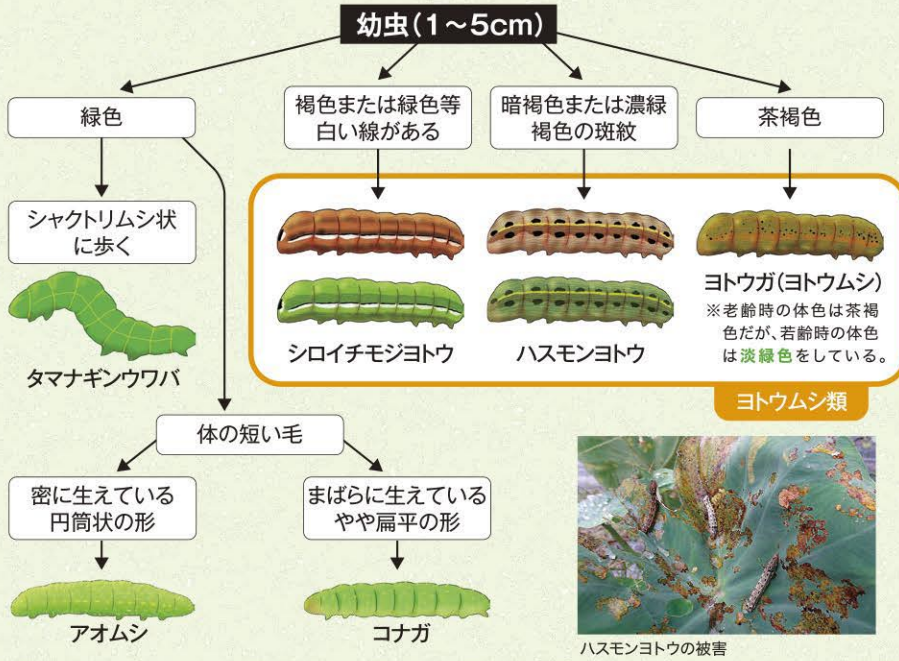
圃場にはよく似た幼虫がたくさんいます。種類を見分けて、適切な防除をしていきましょう。

【編集担当】
営農振興課
荒川 恵梨奈



「教えて! 営農さん」では、農産物の栽培に関する情報をお届けします。

幼虫の見分け方



営農 EYE ヨトウムシ類は、日中は土中に潜んで、主に夜間に這い出て食害するため「夜盗虫」と呼ばれています。葉の裏に卵をまとめて産み付け、卵塊が毛に覆われていなければヨトウガ、黄土色の毛に覆われていればハスモンヨトウ、毛が白っぽければシロイチモジヨトウです。いずれも、淡緑色の若齢幼虫の時期は集団で行動しているのが特徴です。

コナガやヨトウムシ類は、多くの葉剤に抵抗性がある難防除害虫です。防除でご不明な点があれば地区担当の営農指導員にご相談ください。

【お詫びと訂正】本誌5月号P.11において誤りがありました。作物の科の分類について、「ネギ科」とありますが、正しくは「ヒガンバナ科」です。お詫びして訂正いたします。



1 植え付け

本葉が4~5枚で植え付け適期

鉢の6分目の高さまで培養土を入れる。苗の根本を押さえながらポットから取り出し、根鉢を崩さないように植え付ける。鉢の中央に置き、鉢の8分目まで培養土を入れる。全体にまんべんなく水を与える。

2 管理

手入れは早めに、こまめに
良い実には養分を回すためにも、形の悪い実や枯れた葉、茎は早めに取り除く。こまめに手入れすることで長く収穫を楽しむことができる。

3 収穫

20cm程になったら収穫
実の長さが20cmほどになったら収穫適期。切り口から病原菌が入らないように、晴れた日に清潔なハサミでヘタの上を切る。実のなり方が思わしくない場合は、雄花を雌花につけて人工授粉をする。



クセがなく、ほのかな甘みで食べやすい
ズッキーニ
イタリア語で「小さなカボチャ」を意味するズッキーニ。キュウリに似ていますがペポカボチャの仲間です。オリーブ油などと相性がよく、炒め物にするのもおすすめです。

ここに注意

ズッキーニがかかりやすいうどんこ病。葉の表面の白い模様と間違いやすいので、発見が遅れがちです。模様は葉の裏には出ないので、葉の裏が白くなっていないか確認して早期発見に努めましょう。

栽培のポイント

- 10号以上の大きめの鉢で育てる。
- 2株あると実がなりやすい。

参考文献: コンテナでつくるはじめての野菜づくり(新星出版) からだにおいしい野菜の便利帳(高橋出版)

用意するもの

- 苗 ● 培養土 ● 鉢(10号以上) ● 鉢底石

栽培カレンダー

4	5	6	7	8	9	10	11	12
					■ 植え付け			
							■ 収穫	

